

## 置戸町下水道事業中期ビジョン補足資料(農業集落排水事業)

団 体 名 : 置戸町

事 業 名 : 農業集落排水事業

策 定 日 : 平成 22 年 3 月

計 画 期 間 : 平成 21 年度 ~ 平成 31 年度

### 1. 事業概要

#### (1) 事業の現況

##### ① 施設

供用開始年度 (供用開始後年数)	別紙1参照	法適(全部適用・一部適用) 非適の区分	非適
処理区域内人口密度	別紙1参照	流域下水道等への 接続の有無	無
処 理 区 数	2地区(境野・勝山)		
処 理 場 数	2箇所(境野浄化センター・勝山浄化センター)		
広域化・共同化・最適化 実施状況*1	浄化センター管理委託業務については、特環浄化センターから遠方監視により管理を行っており(ミックス事業)経費の削減を図っている。		

\*1 「広域化」とは、一部事務組合による事業実施等の他の自治体との事業統合、流域下水道への接続を指す。

「共同化」とは、複数の自治体で共同して使用する施設の建設(定住自立圏構想や連携中枢都市圏に基づくものを含む)、広域化・共同化を推進するための計画に基づき実施する施設の整備(総務副大臣通知)、事務の一部を共同して管理・執行する場合(料金徴収等の事務の一部を一部事務組合によって実施する場合等)を指す。

「最適化」とは、①他の事業との統廃合、②公共下水・集排、浄化槽等の各種処理施設の中から、地理的・社会的条件に応じて最適なものを選択すること(処理区の統廃合を含む。)、③施設の統廃合(処理区の統廃合を伴わない。)を指す。

##### ② 使用料

一般家庭用使用料体系の 概要・考え方	基本料金(10t)1,650円 1tにつき165円						
業務用使用料体系の 概要・考え方	なし						
その他の使用料体系の 概要・考え方	なし						
条 例 上 の 使 用 料 *2 ( 2 0 m <sup>3</sup> あ た り ) ※ 過 去 3 年 度 分 を 記 載	平成25年度	3,200	円	実 質 的 な 使 用 料 *3 ( 2 0 m <sup>3</sup> あ た り ) ※ 過 去 3 年 度 分 を 記 載	平成25年度	2,740	円
	平成26年度	3,300	円		平成26年度	2,800	円
	平成27年度	3,300	円		平成27年度	2,760	円

\*2 条例上の使用料とは、一般家庭における20m<sup>3</sup>あたりの使用料をいう。

\*3 実質的な使用料とは、料金収入の合計を有収水量の合計で除した値に20m<sup>3</sup>を乗じたもの(家庭用のみでなく業務用を含む)をいう。

③ 組織

職 員 数	技術:1人 管理(事務)1人 下水道会計および簡易水道会計にそれぞれ各1名づつ給与の予算措置をしている。
事業運営組織	平成11年に施設課(上下水道の施設管理)と建設課(上下水道の施設建設)が合併し、施設整備課に再編し現在に至る。

(2) 民間活力の活用等

民間活用の状況	ア 民間委託 (包括的民間委託を含む)	施設管理を民間に委託している。(下水道浄化センター3箇所)に簡易水道施設3箇所を合わせ3年の複数年契約しており経費削減を図っている)
	イ 指定管理者制度	なし
	ウ PPP・PFI	なし
資産活用の状況	ア エネルギー利用 (下水熱・下水汚泥・発電等) *4	脱水汚泥をJAの堆肥センターに運搬しJAが堆肥を販売している。(JAには処分料を支払っている)
	イ 土地・施設等利用 (未利用土地・施設の活用等) *5	なし

\*4 「エネルギー利用」とは、下水汚泥・下水熱等、下水道事業の実施に伴い生じる資源(資産を含む)を用いた収入増につながる取組を指す。

\*5 「土地・施設等利用」とは、土地・建物等、下水道事業の実施に不可欠な資産を用いた、収入増につながる取組を指す(単純な売却は除く)。

(3) 経営比較分析表を活用した現状分析

※直近の経営比較分析表(「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表について(公営企業三課室長通知)」による経営比較分析表)を添付すること。

別紙-2 置戸町農業集落排水事業の財政シミュレーション結果 参照
----------------------------------

## 2. 経営の基本方針

基本的な経営方針は、下水道事業中期ビジョンに沿うものとするが、各地区ごとの管理・課題について補足する。  
○境野地区農業集落排水事業については、平成26年度に機能強化対策計画を策定し浄化センターの機能回復をライフサイクルコストを鑑み事業の平準化を図る。  
○勝山地区農業集落排水事業については、供用開始してから間もないことから適切な施設管理を実施していく。  
しかしながら、今後ますます使用料収入が見込めない中、管路の老朽化・災害対策など喫緊の課題が山積されている。  
今後の経営基本方針は以下のとおりである。  
①アセットマネジメントの策定  
②使用料の見直し  
③収納率の向上・滞納整理の強化  
④水洗化率の向上  
※企業会計への移行はこれら課題が整理されてから検討に入る。

## 3. 投資・財政計画(収支計画)

### (1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

※赤字がある場合には(3)において、その解消方法が示されていることが必要

### (2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

#### ① 収支計画のうち投資についての説明

境野浄化センターの老朽化に伴い、機能強化対策事業により平成26年度から3年計画で事業を実施していく予定となっており、想定額を計上している。

#### ② 収支計画のうち財源についての説明

使用料金については、町総合計画の人口予測に基づき算定しており、増額は見込めない状況にある。一方、平成26年度からの事業計画により国庫補助金地方債の増額を見込んでいるが、不足分については一般会計からの繰り入れに頼るしかない状況にある。

#### ③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

人件費については、職員1名分の計上でありこれ以上の削減は不可能であり、物価の上昇を加味すると緩やかな上昇は否めない。維持管理費は、維持管理計画に基づき計上しているが老朽化が進行する後年時には計画の見直しが必要になることが想定される。

**(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要**

(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

\* (1)において黒字の場合においても、投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

**① 今後の投資についての考え方・検討状況**

\* 処理区ごとに考え方が異なる場合は、処理区ごとに記載すること

広域化・共同化・最適化に関する事項	現在においてもミックス事業による共同化・最適化を図っている。(遠方監視による遠隔操作・農集2施設の濃縮汚泥は特環浄化センターに運搬し脱水を実施)
投資の平準化に関する事項	境野浄化センターは機能強化対策事業による機能回復を図り、事業の平準化を行う。
民間活力の活用に関する事項 (PPP/PFIなど)	困難
その他の取組	なし

**② 今後の財源についての考え方・検討状況**

使用料の見直しに関する事項	平成30年度から見直しを行う
資産活用による収入増加の取組について	一般会計からの繰り入れに頼っており、現時点での基金積立は困難
その他の取組	なし

**③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況**

民間活力の活用に関する事項 (包括的民間委託等の民間委託、指定管理者制度、PPP/PFIなど)	(2)に記載のとおり現在も努力しているが、今後検討していくとすれば性能発注(包括的委託)になる
職員給与費に関する事項	現在も最小限の人員で行っておりこれ以上の削減は不可能
動力費に関する事項	電力の自由化にとまぬい、より安価な業者の選考を考えたい
薬品費に関する事項	施設管理費の中に含んでおり、これ以上の削減は困難
修繕費に関する事項	修繕計画をに基づき計画的に実施している
委託費に関する事項	供用開始して23年が経過しようとしており、管路の老朽化対策を検討していくことが必要となっていく。カメラ検査などの委託費が見込まれるが、道路陥没など第三者被害が想定されることから計画的実施していくことになる。
その他の取組	なし

**4. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項**

経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	平成29年度に料金改定の検討に入ることから、アセットマネジメントおよび経営戦略の見直しを行う。
---------------------	---

## 施設概要

処理施設名称	処理区域	供用開始年度	処理面積 (ha)	処理区域内人口 (人)	処理区域内人口密度 人/ha	処理区数	処理場数
境野地区 農業集落排水施設	境野・豊住	平成6年度	31	340	10.97	1	1
勝山地区 農業集落排水施設	勝山・安住	平成15年度	24.6	320	13.01	1	1

※事業区域位置図は中期ビジョン参照

置戸町農業集落排水事業の財政シミュレーション結果

項目	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	→将来				
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
収益的収支	①収入	29,575	22,594	21,763	42,597	28,259	30,229	43,717	42,530	44,287	52,910	39,357	39,054	38,214	38,194	40,242	40,529
	下水使用料	5,286	5,479	6,248	6,500	6,223	6,211	6,239	6,057	6,103	6,037	5,925	5,803	5,564	5,564	5,564	5,564
	雨水処理負担金	0	389	707	707	707	696	707	707	707	707	707	707	707	707	707	707
	国庫補助金	3,945	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	繰入金																
	基準内	9,205	7,425	5,172	29,418	17,443	20,315	33,933	33,108	35,445	39,191	29,138	23,596	23,157	23,142	24,627	24,835
	基準外	6,369	3,801	6,366	1,565	0	0	0	0	0	6,975	3,583	8,936	8,783	8,778	9,341	9,420
	その他	4,770	5,500	3,270	4,407	3,886	3,007	2,838	2,658	2,032	0	4	12	3	3	3	3
	②支出	25,632	22,594	21,763	24,527	20,705	19,833	21,198	19,346	18,693	17,978	16,500	20,757	22,323	22,600	21,982	21,524
	人件費	1,156	1,103	1,117	1,861	1,267	1,239	1,326	835	824	1,971	1,077	5,668	5,735	5,708	5,800	5,900
維持管理費	9,454	8,539	8,271	10,813	8,252	8,080	10,037	9,424	9,496	8,263	8,425	7,953	10,555	11,432	11,432	11,432	
起債利息	13,408	12,951	12,318	11,732	11,096	10,428	9,733	9,028	8,316	7,620	6,934	6,345	5,850	5,277	4,567	4,009	
その他	1,614	1	57	121	90	86	102	59	57	124	64	791	183	183	183	183	
③収支=①-②	3,943	0	0	18,070	7,554	10,396	22,519	23,184	25,594	34,932	22,857	18,297	15,891	15,594	18,260	19,005	
資本的収支	④収入	15,568	24,974	29,320	14,446	26,870	25,187	13,382	12,236	10,315	2,780	6,500	55,869	44,063	15,038	1,249	1,299
	起債借入金	0	0	400	0	0	0	0	0	0	0	2,700	27,900	21,900	6,300	0	0
	国庫補助金		0	0	0	0	0	0	0	956	1,680	2,646	26,709	21,013	7,550	0	0
	工事負担金	1,130	260	150	112	118	30	10	0	0	0	50	20	20	20	20	20
	繰入金																
	基準内	14,438	24,714	21,024	3,099	14,697	14,897	2,931	1,807	1,048	1,100	1,154	1,210	1,130	1,168	1,229	1,279
	基準外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	7,746	11,235	12,055	10,260	10,441	10,429	8,311	0	0	0	0	0	0	0
	⑤支出	15,568	24,974	29,320	32,516	34,424	35,583	35,901	35,417	35,912	37,712	29,357	74,162	59,958	30,632	19,509	20,304
	建設改良費	0	0	0	0	34,424	0	0	0	1,911	4,334	5,292	54,994	42,026	12,100	0	0
起債償還費	15,568	24,974	29,320	32,516	0	35,583	35,901	35,417	34,001	33,378	24,065	19,168	17,932	18,532	19,509	20,304	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑥収支=④-⑤	0	0	0	-18,070	-7,554	-10,396	-22,519	-23,181	-25,597	-34,932	-22,857	-18,293	-15,895	-15,594	-18,260	-19,005	
⑦収支再差引=③+⑥	3,943	0	0	0	0	0	0	3	-3	0	0	4	-4	0	0	0	
⑧前年度からの繰越金	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4	0	0	0	
⑨形式収支=⑦+⑧	3,945	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4	0	0	0	0	

※ 一般会計からの基準外繰入金については、実質収支が黒字になるように補填するものとして位置付けた。